



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2002269279 A**(43) Date of publication of application: **20.09.02**

(51) Int. Cl.

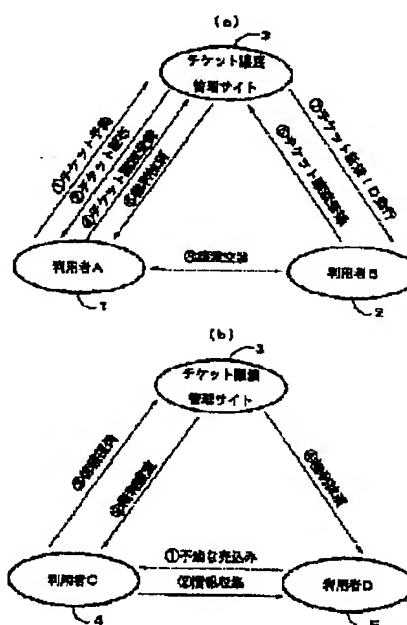
G06F 17/60(21) Application number: **2001070890**(71) Applicant: **UEDA MITSUNOBU**(22) Date of filing: **13.03.01**(72) Inventor: **UEDA MITSUNOBU**(54) **TRANSFER MANAGEMENT METHOD FOR
ON-LINE TICKET AND MANAGEMENT SERVER
SYSTEM**

(57) Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To reduce the management cost by facilitating ticket management including ticket transfer confirmation without directly selling the ticket.

SOLUTION: In the case where a management server transfers the right for obtaining a ticket possessed by a user A himself to a user B as a third party, a ticket ID, an own ID and a password input are received from the user A, an own ID, password and ID input of the user A are received from the user B, and the data are collated with each other to erase the ticket ID possessed by the user A and issue a new ticket ID to the user B instead of it.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-269279
(P2002-269279A)

(43) 公開日 平成14年9月20日 (2002.9.20)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード [*] (参考)
G 0 6 F 17/60	1 4 6 Z E C 3 0 2 3 1 4 5 1 2	G 0 6 F 17/60	1 4 6 A Z E C 3 0 2 E 3 1 4 5 1 2
審査請求 未請求 請求項の数9 O L (全 8 頁)			

(21) 出願番号 特願2001-70890(P2001-70890)

(22) 出願日 平成13年3月13日 (2001.3.13)

(71) 出願人 501099622

植田 光信

神奈川県秦野市南矢名2215

(72) 発明者 植田 光信

神奈川県秦野市南矢名2215

(74) 代理人 100060690

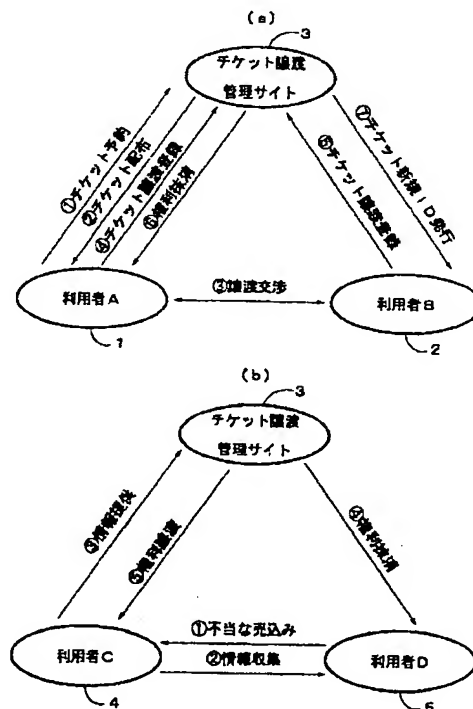
弁理士 瀧野 秀雄 (外3名)

(54) 【発明の名称】 オンラインチケットの譲渡管理方法、およびその管理サーバシステム

(57) 【要約】

【課題】 チケットを直接販売することなく、チケット譲渡確認を含むチケット管理を容易化し、管理コストの低減をはかる。

【解決手段】 管理サーバが、ある利用者Aが自ら所有するチケットを得るための権利を第三者である利用者Bに譲渡する場合、利用者AからチケットIDと自身のIDならびにパスワード入力を受信すると共に、利用者Bから自身のIDとパスワードならびに利用者AのID入力を受信し、各データを照合することにより、利用者Aが所持するチケットIDを消去し、代わって利用者Bに新規のチケットIDを発行する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 利用者が所持するネット接続環境を持った携帯端末装置と、チケット配信サーバとはインターネット網を介して接続されるチケット販売システムに用いられるオンラインチケットの配信ならびに譲渡方法であって、

ある利用者Aが自ら所有するチケットを得るための権利を第三者である利用者Bに譲渡する場合、

利用者AからチケットIDと自身のIDならびにパスワード、利用者BのID入力を受信すると共に、前記利用者Bから自身のIDとパスワードならびに利用者AのID入力を受信し、

前記各データを照合することにより、前記利用者Aが所持するチケットIDを消去し、代わって前記利用者Bに新規のチケットIDを発行することを特徴とするオンラインチケットの譲渡管理方法。

【請求項2】 あらかじめ個人情報が登録された利用者からのチケット予約に従い、前記利用者にチケットIDを配布してそのチケットを得る権利を譲渡し、

前記利用者から前記チケットIDと当該利用者の個人情報を受信し、照合することによって前記利用者が所持する携帯端末装置にチケット画面表示を行なうことを特徴とする請求項1に記載のオンラインチケットの譲渡管理方法。

【請求項3】 不当な転売行為を行なった利用者Dを認定するのに必要な情報を利用者Cから受信し、その認定を得た時点で前記利用者Dからチケットを得るための権利を剥奪し、前記認定に必要な情報を提供した利用者Cに前記利用者Dが所有していたチケットの権利を譲渡することを特徴とする請求項1または2に記載のオンラインチケットの譲渡管理方法。

【請求項4】 利用者が所持するネット接続環境を持った携帯端末装置とはインターネット網を介して接続される管理サーバであって、

ある利用者Aが自ら所有するチケットを得るための権利を第三者である利用者Bに譲渡する場合、利用者AからチケットIDと自身のIDならびにパスワード、利用者BのID入力を受信すると共に、前記利用者Bから自身のIDとパスワードならびに利用者AのID入力を受信するチケット譲渡登録要求受信手段と、

前記各IDを照合することにより、前記利用者Aが所持するチケットIDを消去し、代わって前記利用者Bに新規のチケットIDを発行するチケット所有権譲渡制御手段と、を備えたことを特徴とする管理サーバシステム。

【請求項5】 前記チケット所有権譲渡制御手段は、不当な転売行為を行なった利用者Cを認定するのに必要な情報を情報提供受信部を介して受信し、その認定を得た時点で前記利用者Cからチケットを得るための権利を剥奪し、前記認定に必要な情報を提供した利用者Cに前記利用者Dが所有していたチケットの権利を譲渡すること

を特徴とする請求項4に記載の管理サーバシステム。

【請求項6】 利用者が所持するネット接続環境を持った携帯端末装置とはインターネット網を介して接続される管理サーバに用いられる管理サーバプログラムであって、

ある利用者Aが自ら所有するチケットを得るための権利を第三者である利用者Bに譲渡する場合、利用者AからチケットIDと自身のIDならびにパスワード、利用者BのID入力を受信するステップと、

前記利用者Bから自身のIDとパスワードならびに利用者AのID入力を受信するステップと、

前記各データを照合することにより、前記利用者Aが所持するチケットIDを消去し、代わって前記利用者Bに新規のチケットIDを発行するステップと、をコンピュータに実行させる管理サーバプログラム。

【請求項7】 不当な転売行為を行なった利用者Dを認定するのに必要な情報を受信するステップと、

その認定を得た時点で前記利用者Dからチケットを得るための権利を剥奪し、前記認定に必要な情報を提供した利用者Cに前記利用者Dが所有していたチケットの権利を譲渡するステップと、をコンピュータに実行させる請求項6に記載の管理サーバプログラム。

【請求項8】 利用者が所持するネット接続環境を持った携帯端末装置とはインターネット網を介して接続される管理サーバに用いられる管理サーバプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、

ある利用者Aが自ら所有するチケットを得るための権利を第三者である利用者Bに譲渡する場合、利用者AからチケットIDと自身のIDならびにパスワード、利用者BのID入力を受信するステップと、

前記利用者Bから自身のIDとパスワードならびに利用者AのID入力を受信するステップと、

前記各データを照合することにより、前記利用者Aが所持するチケットIDを消去し、代わって前記利用者Bに新規のチケットIDを発行するステップと、をコンピュータに実行させる管理サーバプログラムを記録した記録媒体。

【請求項9】 不当な転売行為を行なった利用者Dを認定するのに必要な情報を受信するステップと、

その認定を得た時点で前記利用者Dからチケットを得るための権利を剥奪し、前記認定に必要な情報を提供した利用者Cに前記利用者Dが所有していたチケットの権利を譲渡するステップと、をコンピュータに実行させる管理サーバプログラムを記録した請求項8に記載の記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、オンラインチケットの譲渡管理方法、およびその管理サーバシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来のチケットを事前に配布するシステムでは、窓口、受付、店舗等を運営するためにたくさんの人材を要し、また、チケットを事前に配布することによってそれらを商業的に買い占め不当な値段で取引を行なう業者も出現して様々な弊害も生じ、社会問題にもなっている。

【0003】一方、通信環境の整備およびインターネット接続環境を持つ携帯電話やPDA (Personal Digital Assistants) 等モバイル機器の出現によって必ずしも紙のチケットにこだわる必要がなくなった。紙のチケットを配布せずに電子化することによって、窓口、店舗を不要とし、また、人材の合理化が可能となり、更には、インターネットの利用でロスタイムをなくし、情報の管理も容易になるといった利点を持つ。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、紙のチケットがなくなっても依然として悪質業者の転売行為をなくするような抜本的な改革には至っていない。上記したように、悪質業者がチケットを買い占め、それを特定の業者を使ってインターネットを介し高値で委託販売するといった弊害が出てきている。従って、買占めによりチケットを予約できなかったユーザは、業者の言い値で仕方なく購入し、悪質業者とユーザとの間で売買契約が成立していた。そもそも悪質業者の買占めさえなければユーザは定価でチケットを購入することができるものである。

【0005】本発明は上記事情に鑑みてなされたものであり、チケットを直接販売せずに利用者間の譲渡を含むチケット管理を容易化し、管理コストの低減をはかったオンラインチケットの譲渡管理方法、およびその管理サーバシステムを提供することを目的とする。また、不当転売等の悪質行為者を利用者が発見した場合に情報提供を促し、その情報を元に悪質行為を認定した場合、認定に有力な情報を提供頂いた利用者にその悪質業者が所持していた権利を譲渡することにより、利用者が定価でチケットを得ることのできるオンラインチケットの譲渡管理方法、およびその管理サーバシステムを提供することも目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記した課題を解決するために請求項1に記載の発明は、利用者が所持するネット接続環境を持った携帯端末装置と、チケット配信サーバとはインターネット網を介して接続されるチケット販売システムに用いられるオンラインチケットの配信ならびに譲渡方法であって、ある利用者Aが自ら所有するチケットを得るための権利を第三者である利用者Bに譲渡する場合、利用者AからチケットIDと自身のIDならびにパスワード、利用者BのID入力を受信すると共に、前記利用者Bから自身のIDとパスワードならびに

利用者AのID入力を受信し、前記各データを照合することにより、前記利用者Aが所持するチケットIDを消去し、代わって前記利用者Bに新規のチケットIDを発行することを特徴とする。

【0007】また、請求項2に記載の発明は、請求項1に記載のオンラインチケットの譲渡管理方法において、あらかじめ個人情報が登録された利用者からのチケット予約に従い、前記利用者からチケットIDを配布してそのチケットを得る権利を譲渡し、前記利用者から前記チケットIDと当該利用者の個人情報を受信し、照合することによって前記利用者が所持する携帯端末装置にチケット画面表示を行なうことを特徴とする。

【0008】更に、請求項3に記載の発明は、請求項1または2に記載のオンラインチケットの譲渡管理方法において、不当な転売行為を行なった利用者Dを認定するのに必要な情報を利用者Cから受信し、その認定を得た時点で前記利用者Dからチケットを得るための権利を剥奪し、前記認定に必要な情報を提供した利用者Cに前記利用者Dが所有していたチケットの権利を譲渡することを特徴とする。

【0009】上記した課題を解決するために請求項4に記載の発明は、利用者が所持するネット接続環境を持った携帯端末装置とはインターネット網を介して接続される管理サーバであって、ある利用者Aが自ら所有するチケットを得るための権利を第三者である利用者Bに譲渡する場合、利用者AからチケットIDと自身のIDならびにパスワード、利用者BのID入力を受信すると共に、前記利用者Bから自身のIDとパスワードならびに利用者AのID入力を受信するチケット譲渡登録要求受信手段と、前記各データを照合することにより、前記利用者Aが所持するチケットIDを消去し、代わって前記利用者Bに新規のチケットIDを発行するチケット所有権譲渡制御手段と、を備えたことを特徴とする。

【0010】また、請求項5に記載の発明は、請求項4に記載の管理サーバシステムにおいて、前記チケット所有権譲渡制御手段は、不当な転売行為を行なった利用者Cを認定するのに必要な情報を情報提供受信部を介して受信し、その認定を得た時点で前記利用者Dからチケットを得るための権利を剥奪し、前記認定に必要な情報を提供した利用者Dに前記利用者Cが所有していたチケットの権利を譲渡することを特徴とする。

【0011】上記構成により、管理サーバシステムは、ある利用者Aが自ら所有するチケットを得るための権利を第三者である利用者Bに譲渡する場合、利用者AからチケットIDと自身のIDならびにパスワード、利用者BのID入力を受信すると共に、利用者Bから自身のIDとパスワードならびに利用者AのID入力を受信し、各データを照合することにより、利用者Aが所持するチケットIDを消去し、代わって利用者Bに新規のチケットIDを発行する。このことにより、チケットを直接販

売せずに利用者間の譲渡を含むチケット管理を容易化し、管理コストの低減がはかれる。また、チケットの譲渡管理サイトでは、不当転売等の悪質行為者を利用者が発見した場合にその情報提供を促がし、その情報を元に悪質行為を認定した場合、認定に有力な情報を提供頂いた利用者にその悪質業者が所持していた権利を譲渡することにより、利用者が定価でチケットを得ることができる。このことにより、公平な市場の構築が可能となる。

【0012】上記した課題を解決するために請求項6に記載の発明は、利用者が所持するネット接続環境を持った携帯端末装置とはインターネット網を介して接続される管理サーバに用いられる管理サーバプログラムであって、ある利用者Aが自ら所有するチケットを得るための権利を第三者である利用者Bに譲渡する場合、利用者AからチケットIDと自身のIDならびにパスワード、利用者BのID入力を受信するステップと、前記利用者Bから自身のIDとパスワードならびに利用者AのID入力を受信するステップと、前記各データを照合することにより、前記利用者Aが所持するチケットIDを消去し、代わって前記利用者Bに新規のチケットIDを発行するステップと、をコンピュータに実行させる管理サーバプログラムである。

【0013】また、請求項7に記載の発明は、請求項6に記載の管理サーバプログラムにおいて、不当な転売行為を行なった利用者Dを認定するのに必要な情報を受信するステップと、その認定を得た時点で前記利用者Dからチケットを得るための権利を剥奪し、前記認定に必要な情報を提供した利用者Cに前記利用者Dが所有していたチケットの権利を譲渡するステップと、をコンピュータに実行させることを特徴とする。

【0014】上記した課題を解決するために請求項8に記載の発明は、利用者が所持するネット接続環境を持った携帯端末装置とはインターネット網を介して接続される管理サーバに用いられる管理サーバプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、ある利用者Aが自ら所有するチケットを得るための権利を第三者である利用者Bに譲渡する場合、利用者AからチケットIDと自身のIDならびにパスワード、利用者BのID入力を受信するステップと、前記利用者Bから自身のIDとパスワードならびに利用者AのID入力を受信するステップと、前記各データを照合することにより、前記利用者Aが所持するチケットIDを消去し、代わって前記利用者Bに新規のチケットIDを発行するステップと、をコンピュータに実行させる管理サーバプログラムを記録した記録媒体である。

【0015】また、請求項9に記載の発明は、請求項8に記載の記録媒体において、不当な転売行為を行なった利用者Cを認定するのに必要な情報を受信するステップと、その認定を得た時点で前記利用者Dからチケットを得るための権利を剥奪し、前記認定に必要な情報を提供

した利用者Cに前記利用者Dが所有していたチケットの権利を譲渡するステップと、をコンピュータに実行させることを特徴とする。

【0016】

【発明の実施の形態】図1は、本発明のオンラインチケットの譲渡管理方法が実現されるビジネスモデルとその利用主体の関係を説明するために引用した図であり、(a)と(b)の二例を示す。(a)は利用者間のチケットの譲渡、(b)は、悪質な転売業者から権利を剥奪してその権利を譲渡する場合のビジネスモデルである。

【0017】図1(a)において、利用主体は、利用者A(1)、利用者B(2)、およびチケット譲渡管理サイト3から成る。図示せぬイベント主催者は、チケット譲渡管理サイト3に対してチケットの販売およびその管理を委託してあるものとする。利用者A(1)は、チケット譲渡管理サイト3が指定する方法でチケットを予約し(①)、チケット譲渡管理サイト3は、入金確認後、チケットに個別に割り当てられたチケットIDを利用者1に配布する(②)。チケット譲渡管理サイト3は、チケットを得る権利を利用者A(1)に譲渡し、実際のチケットの配信は公演当日に行なうものとする。

【0018】一方、利用者A(1)は、自らが持つチケットを得るための権利を第三者、この場合利用者B(2)に譲渡する旨、話し合いがなされており(③)、このための登録を行うものとする。ここでは、利用者A(1)は、譲渡する相手に利用者ID等を知らせる必要があるため、利用者B(2)は、利用者IDを悪用されることのない親族や極親しい友人に限られる。利用者A(1)は、チケット譲渡管理サイト3に対し、チケット譲渡の意思表示と共に、そのチケットID、利用者IDとパスワード、そして譲渡相手となる利用者B(2)の利用者IDを登録する(④)。利用者B(2)も同様、チケット譲渡管理サイト3に対して自身の利用者ID、パスワード、そして、譲渡先の利用者IDを登録する(⑤)。これを受けたチケット譲渡管理サイト3では照合操作を行なうことにより、利用者A(1)が所持していたチケットIDを抹消し(⑥)、利用者B(2)に対して新規のチケットIDを発行する(⑦)。

【0019】図1(b)において、利用主体は、利用者C(4)、悪質行為を行なう利用者D、(5)そしてチケット譲渡管理サイト3となる。まず、利用者C(4)は、利用者D(5)から転売等不当な売り込みを受けたとする(①)。ここで、利用者C(4)は、情報収集を行い(②)、チケット譲渡管理サイト3に対して情報提供を行なう(③)。これを受けたチケット譲渡管理サイト3では、提供を受けた情報に基づき調査し、利用者D(5)が不当転売等の悪質行為をしているものと認定したとする。このことにより、利用者D(5)が所持していた権利を没収し(④)、情報提供してくれた利用者C(4)に対しその権利を譲渡する(⑤)。

【0020】図2は、本発明のオンラインチケットの譲渡管理方法が実現されるオンラインチケット販売システムの接続形態を説明するために引用した図である。図2において、符号13は、チケット譲渡管理サイト3に備え付けの管理サーバであり、利用者2、4、5が所持するモバイル端末機器11とはインターネット網10を介して接続されている。管理サーバ13は、本発明システムの利用を許可された利用者と、発行されるチケットIDを管理するために照合用の管理データベース(DB)14を備えている。また、モバイル端末機器11は、インターネット網10への接続環境を備えた携帯電話、あるいはインターネットエクスプローラ、ネットスケープナビゲータ等のブラウジングソフトウェアを備えたPDA端末とする。

【0021】図3は、図2に示す管理サーバ13の内部構成を機能展開して示したブロック図である。以下に説明する各ブロックは、具体的には、CPUならびにメモリを含む周辺LSIで構成され、CPUがメモリに記録されたプログラムを読み出し逐次実行することによってそのブロックが持つ機能を実現する。管理サーバ13は、チケット譲渡登録要求受信部131と、チケット所有権譲渡制御部132と、情報提供受信部133と、利用者登録DB(141)、チケット管理DB(142)で構成される。

【0022】チケット譲渡登録要求受信部131は、利用者A(1)が自ら所有するチケットを得るための権利を第三者である利用者B(2)に譲渡する場合、利用者A(1)からチケットIDと自身のIDならびにパスワード入力を受信すると共に、利用者B(2)から自身のIDとパスワードならびに利用者A(1)のID入力を受信する機能を持つ。チケット所有権譲渡制御部132は、チケット譲渡登録要求受信部131を介して入力された各データを照合することにより、利用者A(1)が所持するチケットIDを消去し、代わって利用者B(2)に新規のチケットIDを発行する機能を持つ。チケット所有権譲渡制御部132は、不当な転売行為を行なった利用者C(4)を認定するのに必要な情報に関して情報提供受信部133を介して受信し、その認定を得た時点で利用者D(5)からチケットを得るための権利を剥奪し、認定に必要な情報を提供した利用者C(4)に前記利用者Cが所有していたチケットの権利を譲渡する機能を持つ。

【0023】図4、図5は、図1乃至図3に示す本発明実施形態の動作を説明するために引用した図であり、基本動作の流れ、チケット画面表示の遷移ならびにその画面構成の一例についてそれぞれを示す。以下、図4、図5を参照しながら図1乃至図3に示す本発明実施形態の動作について詳細に説明する。

【0024】動作説明に先立ち、本発明システムを利用するため、全ての利用者は、あらかじめ利用者登録を行

う必要がある。ここでは、チケット譲渡管理サイト3に対して、住所、氏名、電話番号、メールアドレス、銀行口座またはクレジットカード番号等から成る個人情報を登録し、また、その際に、利用者IDとパスワードの設定登録もなされるものとする。これらの情報は、利用者登録DB141、チケット管理DB142に反映され、チケットIDを配布するときの連絡、およびセキュリティ、チケット予約キャンセル時の返金ならびに後述する情報提供者の優遇を行なうときに使用される。まず、利用者A(1)は、モバイル端末機器11の電源をONしてインターネット接続モードに設定することによって、その画面上にメニュー表示を行なう(ステップS41)。そのメニュー画面の構成を図5(a)に示す。ここでは、メニューとして、(1)利用者登録、(2)チケット申し込み、(3)チケット譲渡、(4)チケットキャンセル、(5)チケット表示の5つのメニューが示されている。

【0025】まず、利用者は、メニュー表示された項目の中から該当メニューを選択する(ステップS42)。「チケット申し込み」を選択した場合はチケット譲渡管理サイト3が指定する方法でチケット予約を行なう(ステップS43)。このときに表示される画面を図5(b)に示す。一方、「チケット譲渡」を選択した場合は、チケット譲渡の処理へ進む。このときに出現する画面を図5(c)に示す。管理サーバ11は、メニュー選択で「チケット申し込み」が指示され、チケット申し込みに必要な事項が入力された場合、それを受けて内容を確認し、入金確認後(ステップS44)、チケットに個別に割り当てられたチケットIDを発行し、その利用者A(1)に送信する(ステップS45)。チケット譲渡管理サイト3は、チケットを得る権利を利用者A(1)に譲渡し、実際のチケットの配信は公演当日に行なうものとする。

【0026】一方、メニュー選択で「チケット譲渡」が指示された場合、各利用者A(B)は、図5(c)に示す画面から登録の種類を選択する(ステップS46)。すなわち、この場合、利用者A(1)は、権利者譲渡登録を選択し、利用者B(2)は、権利受領登録を選択する必要がある。各利用者がそれぞれを選択したときに出現する画面が図5(d)(e)に示されている。利用者A(B)は、それぞれ画面の指示に従い、利用者IDやパスワードから成る譲渡に必要なデータを入力する。ここでは、権利譲渡元である利用者A(1)は、所有するチケットIDの他に、自らの利用者IDとパスワード、そして譲渡先の利用者IDを(ステップS47)、権利譲渡先である利用者B(2)は、自らの利用者IDとパスワード、そして譲渡元の利用者IDを入力する(ステップS48)。これら入力は、管理サーバ13のチケット譲渡登録要求受信部131で受け付けられる。

【0027】管理サーバ13ではこれを受け、これら入

力を確認したうえで利用者登録DB141、チケット管理DB142を参照して照合する（ステップS49）。ここで認証を得た場合のみ、権利受領者である利用者B（2）のモバイル端末機器11に対し、例えばEメールで新規IDが配布され、同時に利用者A（1）が所有していた権利は抹消される（ステップS50）。これら、新規IDの発行ならびに権利抹消の処理は、チケット所有権譲渡制御部132によって行われる。なお、譲渡を受けた利用者B（2）に対するチケットの配信は公演当日に行なわれ、利用者B（2）は、そのチケット画面を表示したまま公演会場に入場する。このとき、入場係員は、利用者B（2）のモバイル端末機器11の画面を確認後、チケット表示画面の任意位置に割り付けられ表示されてある入場確認釦（アイコン）を押下して入場確認を行なう。

【0028】上記した入場確認は管理サーバ13によって行なわれ、モバイル端末機器11から利用者が入場したことの情報を受け、そのチケットIDを含む利用者情報を照合して、認証が得られた場合のみそのチケット表示画面を消去する。係員はこのことを確認したうえで利用者B（2）の入場を許可する。

【0029】上記したように、利用者A（B）共に譲渡設定のための登録をすることから、セキュリティ面での安全性は高い。また、これを商業目的に行なおうとしても買い手には、当日でなければチケットが得られているかわからず、したがって悪用防止につながる。更に、紙のチケットであれば、もし、商業目的の行為があつて、紙のチケットが配布された後に回収を行なうことはできなかったが、本発明によれば、悪質行為者を発見してもチケットを配布していないため、悪質行為者の権利を剥奪し、善良な利用者に再配布することが極めて簡単に、かつ、低いコストで行なうことができる。なお、サイトを運営する事業者は、利用者からの権利確認は一切受け付けられないものとする。これは、IDやその他パスワードの悪用を防ぐためである。サイト運営者は、権利確認は一切受け付けられないため、仮にある利用者が他の利用者にチケットID、利用者ID、パスワードを譲っても他の顧客には、チケットが入手できているか否かの確認ができず、このような確信の持てない売買契約が成立することは考えにくい。従って商業目的の行為が発生することはない。

【0030】一方、従来のチケット販売によれば、悪質業者がチケットを買い占め、それを特定業者を使用して委託販売したり、インターネットを通じて高値で販売するといった弊害があったことは上記したとおりである。これに対し、買い占めによりチケットを購入できなかった利用者は、業者の言い値で仕方なく購入し、悪質業者と利用者との間に売買契約が成立していた。しかし、この悪質行為者の買い占めさえなければ利用者は、定価でチケットを購入することができ、本発明システムでは、この

悪質業者と利用者との売買契約成立を阻止し、公平な市場を構成する仕組みも提供している。

【0031】すなわち、リアルタイム性を利用して悪質行為者を利用者が発見した場合にサイト運営事業者側でその情報をもとに悪質行為を認定し、その悪質行為を特定可能な有力情報（チケットID、利用者ID、パスワード、個人情報、ダフ屋行為を立証する情報）を提供いただいた利用者に対し、その権利を譲渡している。具体的には、チケット所有権譲渡制御部132が、不当な転売行為を行なった利用者C（4）を認定するのに必要な情報を情報提供受信部133を介して受信し、その認定を得た時点で利用者Cからチケットを得るための権利を剥奪し、認定に必要な情報を提供した利用者D（5）に利用者C（4）が所有していたチケットの権利を譲渡している。これにより、利用者は、悪質行為者から高額な料金でチケットを得る権利を購入せずに、この悪質行為者の情報をサイト事業者に知らせることにより、定価でチケットを得る権利を入手できる。このことにより、利用者と悪質業者との売買契約は成立しなくなる。

【0032】なお、上記した本発明実施形態によれば、公演チケットのみ例示したが、公演に限らず入場チェックが必要なイベント全般に応用可能である。また、本発明は基本的にはインターネット接続可能なモバイル端末機器を携帯する必要があるが、コールセンターと接続することによる利用者登録、あるいはオペレーションサービスのために通常の電話を利用することは可能である。

【0033】

【発明の効果】以上説明のように本発明は、ある利用者Aが自ら所有するチケットを得るための権利を第三者である利用者Bに譲渡する場合、利用者AからチケットIDと自身のIDならびにパスワード入力を受信すると共に、利用者Bから自身のIDとパスワードならびに利用者AのID入力を受信し、各データを照合することにより、利用者Aが所持するチケットIDを消去し、代わって利用者Bに新規のチケットIDを発行するものであり、このことにより、チケットを直接販売せずに利用者間の譲渡を含むチケット管理を容易化し、管理コストの低減がはかれる。また、不当転売等の悪質行為者を利用者が発見した場合に情報提供を促し、その情報を元に悪質行為を認定した場合、認定に有力な情報を提供頂いた利用者にもその悪質行為者が所持していた権利を譲渡することにより、利用者が定価でチケットを得ることができ、従って、公平な市場の構築が可能となる。更に、紙のチケットを配布しなくてもモバイル端末機器の画面にチケットを表示することにより、窓口や店舗を不要とし、更に人材の合理化が可能となる他に、インターネットの利用でロスタイムをなくし、情報の管理も容易になるといった利点を持つことは勿論のことである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のオンラインチケットの譲渡管理方法が

実現されるビジネスモデルとその利用主体の関係を説明するために引用した図である。

【図2】本発明のオンラインチケットの譲渡管理方法が実現されるオンラインチケット販売システムの接続形態を説明するために引用した図である。

【図3】図2に示す管理サーバの内部構成を機能展開して示したブロック図である。

【図4】本発明実施形態の基本動作を説明するために引用したフローチャートである。

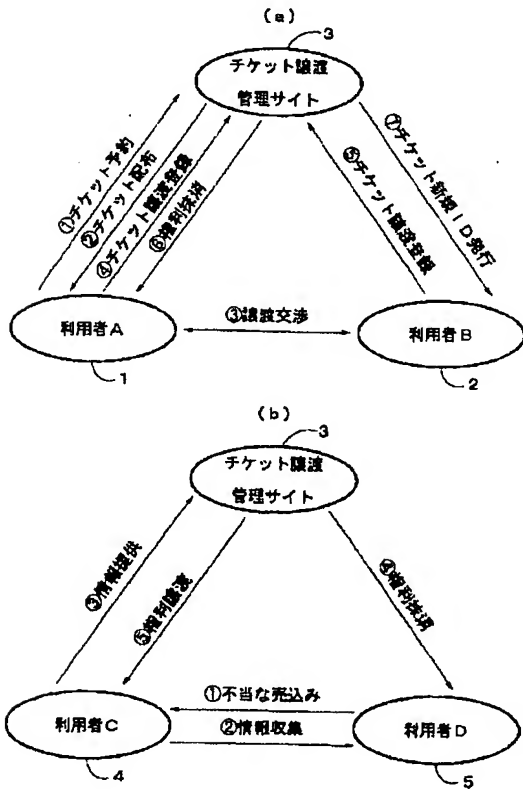
【図5】本発明実施形態の動作を説明するために引用し

た図であり、画面遷移ならびにその画面構成の一例を示す図である。

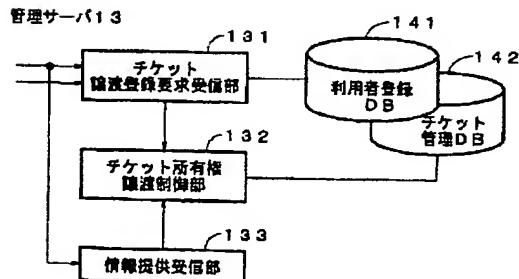
【符号の説明】

1、2、4、5…利用者、3…チケット譲渡管理サイト、11…モバイル端末機器、13…管理サーバ、14…管理データベース(DB)、131…チケット譲渡登録要求受信部、132…チケット所有権譲渡制御部、133…情報提供受信部、141…利用者登録DB、142…チケット管理DB

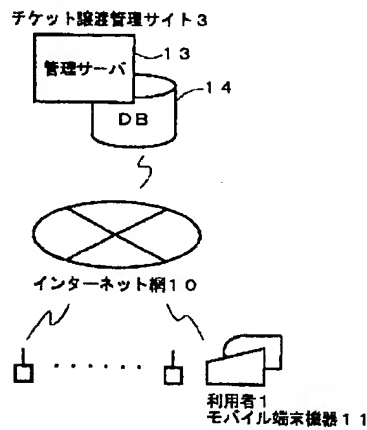
【図1】



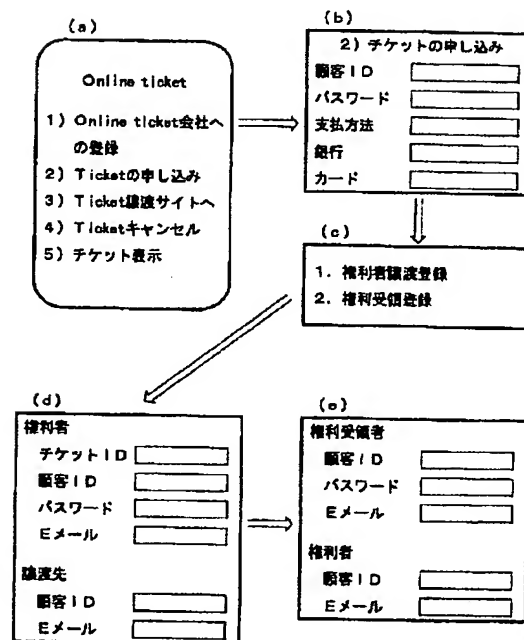
【図3】



【図2】



【図5】



【図4】

